

夢へのかけはし



山鹿中通信 文責 工

信は力なり

11月7日(金)、熊本県中学校総合体育大会駅伝競走大会が天草市のあましんスタジアム発着コースで開催されました。山鹿市の代表として男子・女子チームが出場し、粘り強く走り抜き女子は第3位、男子は第7位というすばらしい成績を収めました!

自分自身を信じ、仲間を信じ、それぞれのスタートラインに立ち、これまで挑戦してきた力、鍛え抜いてきた力を存分に発揮し、自信と誇りの走り、サポートを見せてくれました。「信」は【まかせる】とも読みます。相手の心にまかせ、信じる・信頼することです。ともに練習し、時間を共有してきた仲間、子どもに寄り添い励ましていただいた保護者の皆様、指導者等、多くの応援や信頼が生徒の可能性を引き出した結果だといえます。また山鹿中学校に新たな一歩が刻まれました。

練習の1回1回を本気で取り組み、本番では自己ベストを出すことができた。チームのみんなでつかみ取った3位という結果は、みんなの努力の証だと思う。	最後の駅伝大会、これまで練習してきた成果を発揮できて良かった。男女ともに良い結果を残せ、支えてくださった先生方や家族に感謝したい。
男女で出場できて本当に良かった。目標としていた入賞ができて良かった。来年は、九州大会を目指して走ってほしい。	みんなで団結し良い結果を残せるように走り、3位という結果を出せたことがとても嬉しい。
辛い練習の中でも諦めることなく頑張ることができた。	練習を通して最後まで粘ることや継続してやり切る力がとても身についた。
練習はきつかったけど、休まないように頑張ることができた。	みんながいたから続けられたし、頑張れた。みんなからの応援がとても嬉しかった。
辛いときや苦しいときに仲間の顔を思い浮かべながら走った。チームを引っ張る立場としてしっかりとまとめることができた。	3位という成績を残せたことは大きな自信になった。走るときや辛かった練習の日も仲間の顔を思い浮かべて走った。
今までの僕が、駅伝の練習のおかげで区間を2位で走るほどの様々な力をつけることができた。この経験を生かしていきたい。	チームみんなの気持ちを胸に走った。目標には届かなかったが、それ以上のものを得ることができた。みんな、ありがとう。
走ることはできなかったが、いい経験ができた。きつい思いをした時もあったが、継続力やメンタルが鍛えられた。	夏休みのきつい練習をやっていけるか心配だったが、以前より早いペースで走れており、成長したなと感じている。
きつくても続ける力やメンタルが強くなった。来年はメンバー入りし走りたい。	走る力や忍耐力が身についた。支えてくれた多くの人たちへの感謝を忘れず最後まで全力で走ることができた。
練習を重ねる度に集団という意識が高まった。本番を終え、更に成長したと感じている。もっと高みを目指して頑張る。	いつもみんなで協力し、一丸となって挑戦した。自己ベストを出すことができ、一番成長したところは精神力と協力心だと思う。
練習を通して苦手なことの改善と諦めない力がついた。来年は走れるように努力する。	

山中生の挑戦はこれからも続きます。自らの可能性を信じて、辛く、厳しい中にも刻む一歩が輝く未来への一歩になると信じます。